

静岡県文化プログラム

TALK SERIES 09

ト〜 コリーズ

Vol. 09

まちづくりと文化プログラム

住みたい街はどんな街？心ときめく街と文化の関係性

2018年11月3日(土・祝) 14時〜16時

沼津ラクーン3階

ADVANCED PROGRAM FOR
ARTS AND CULTURE

SHIZUOKA

静岡県文化プログラム

<https://shizuoka-ac.org>



トークシリーズ 09

地域を取り巻くさまざまな分野の物事と

文化・芸術が会い、交わることによって何が起り、何が変化していくのか？

2016年度に始まったこのシリーズでは、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた「文化プログラム」を推進するため、毎回さまざまなテーマを設定し、一見文化・芸術とは無関係に見える分野と文化・芸術が交わることで生まれる活動や、地域課題に対する文化・芸術からのアプローチ、新たな文化創造につながる取組などを紹介しています。これらの活動の担い手とさまざまな分野の専門家との対話を通じて、文化プログラムの先に生まれる「未来の静岡県と文化の関係」を探っていきます。

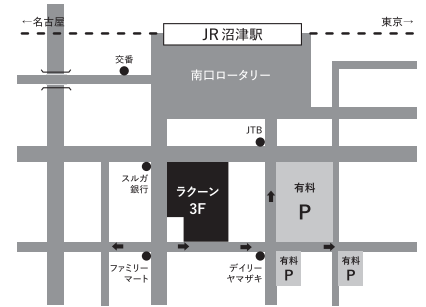
Vol.09 まちづくりと文化プログラム ～住みたい街はどんな街？ 心ときめく街と文化の関係性

2018年11月3日(土・祝) 14:00～16:00

沼津ラクーン3階 静岡県沼津市大手町3-4-1 (JR沼津駅 南口より徒歩1分)

ゲスト：島原万丈、森隆一郎 / 静岡県文化プログラム事例紹介：川上大二郎 (Scale Laboratory 主宰)

私たちが暮らす街にはどのような魅力があるでしょうか。また、街の魅力とはどのように評価すれば良いでしょうか。静岡県文化プログラムでは、『地域とアートが共鳴する』をテーマに、地域の課題を魅力へと変えるプロジェクトに取り組んでいます。今回は、地域の魅力を測る観点から、文化で築く理想のまちづくりについて考えたいと思います。「Sensuous City [官能都市] 一身体で経験する都市；センシュアス・シティ・ランキング」レポートを作成された島原万丈氏と、文化施設のマーケティングマネージャー、アーツカウンシル東京 PRディレクターなどを歴任されてきた森隆一郎氏をお迎えし、「まちづくりと文化」をテーマにトークを実施します。また、静岡県文化プログラム「Scale Laboratory」の事例を紹介し、街の魅力との関係性について話し合います。



島原万丈 (しまはら・まんじょう)

株式会社 LIFULL LIFULL HOME'S 総研 所長

1989年株式会社リクルート入社。グループ内外のクライアントのマーケティングリサーチおよびマーケティング戦略策定に携わる。2005年よりリクルート住宅総研へ移り、ユーザー目線の住宅市場の調査研究と提言活動に従事。2013年3月リクルートを退社、同年7月株式会社LIFULL (旧株式会社ネクスト) でLIFULL HOME'S 総研所長に就任し、2014年『STOCK & RENOVATION 2014』、2015年『Sensuous City [官能都市]』、2017年『寛容社会 多文化共生のための〈住〉ができること』、2018年『住宅幸福論Episode1 住まいの幸福を疑え』を発表。主な著書に『本当に住んで幸せな街 全国官能都市ランキング』(光文社新書)がある。



森隆一郎 (もり・りゅういちろう)

文化事業プロデューサー

アートやカルチャーで社会の境目をなだらかに(着化)する「渚と/nagisato」主宰/墨田区文化振興財団(業務委託)/東京シティ・パレエ団アドバイザー/全銀ネットワーク/文化の朝活 東京アーツのれん会主宰ほか。これまでの仕事は、江東区文化センター事業担当、ティアラこうとう制作担当、いわき芸術文化交流館アリオスマーケティングマネージャー、アーツカウンシル東京PRディレクターなど。2018年独立、企画・制作・広報・コンサルティングなど多面的に活動中。共著に「文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと」水曜社。

Scale Laboratory

Scale Laboratory (スケラボ) は、伊豆を拠点に「ひとりでも多くの人々が、生活と地続きに無理なく芸術を楽しむローカル」を目指し、役目を終えた施設や、使われていない場所などに一時的に活動の場(=舞台)を作り上げ、様々な芸術に関わる企画を行っています。静岡県文化プログラムモデルプログラム(2016年度)、静岡県文化プログラム提案プログラム(2017年度・2018年度)

お申し込み方法 以下の必要事項をご記入のうえ、いずれかの方法でお申込みください。①お名前 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス
申込方法：(a)往復はがき [〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1 グランシップ1F]、(b) FAX [054-283-8086]、(c) E-mail [info@shizuoka-ac.org]、(d) お申込みフォーム [以下のリンク (申込フォーム) よりお申込みください。https://shizuoka-ac.org/info/talk_vol9/] 宛先：静岡県文化プログラム「トークシリーズ9」係

定員 50名 (先着順) **参加費** 無料 (要事前申込) **応募締切** 10月30日(火) 必着 (但し定員に達し次第、受付終了)

お問い合わせ 静岡県文化プログラム推進委員会事務局 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1 グランシップ1階
メール：info@shizuoka-ac.org TEL：054-204-0310 (9:00～17:00/平日のみ)